

● 今月の新着図書 ●



『ウェルビーイングで変わる!
食と健康のマーケティング』
藤田康人【著】/日経BP (2023/4)

身体的健康をゴールとした「ヘルス」、身体と心の健康を目指した「ウェルネス」を経て、より自分らしく生きることを目指す「ウェルビーイング」の時代へ。新たな時代を生き抜く、生活者視点のマーケティングを解説。



『アッテンボロー 生命・地球・未来
~私の目撃証言と持続可能な世界へのヴィジョン』
デイヴィッド・アッテンボロー【著】/東洋経済新報社 (2022/12)

《プラネットアース》で知られる著者が「グリーン成長」「再野生化」こそ、人類・地球の生命生き残りの鍵であると提言。



『いつも「話が浅い」人、
なぜか「話が深い」人』
齋藤孝【著】/詩想社 (2023/2)

聞き手の心を動かす「深い話」をするための能力とはどのようなものか。それをどう伸ばしていけば良いのか。私たちのまわりに溢れる「浅い」話の問題点を解き明かし、「深い」話をする技術を説く。



『宇宙ベンチャーの時代
~経営の視点で読む宇宙開発』
小松伸多佳、後藤大亮【著】/光文社 (2023/3)

宇宙開発は民間企業による「ビジネス」として生まれ変わりつつある。ベンチャー・キャピタリストとJAXAのエンジニアが、企業経営・サイエンスの観点から展望する。



『地方で働き、
地方で生きるという選択』
森康彰【著】/幻冬舎メディアコンサルティング (2022/5)

経済的にも、精神的にも豊かな暮らしは地方でこそ手に入る! 移住、就職、独立起業…地方を選択して豊かに楽しく暮らす。新しい人生の一步を踏み出すための地方生活のすすめ。



『地理的表示と日本の地域ブランドの将来』
荒木雅也【著】/信山社 (2023/4)

和牛、日本酒、ハ丁味噌、イチゴ、干し芋…。日本の知的資源、農産品ブランドの流出をどう食い止めるか。地理的表示制度の概要と海外の状況と課題を概観し、農産品ブランドを守り育てるための方策を考える。



『おもしろい地域には、おもしろい
デザイナーがいる~地域×デザイナーの実践』
新山直広他【編著】中西拓郎他【著】/学芸出版社 (2022/3)

各地で活躍するデザイナーが、地域と関わるようになった理由、仕事への姿勢、生活状況などを綴る。



『アスリート盗撮』
共同通信社運動部【著】/筑摩書房 (2022/9)

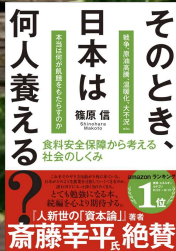
2020年、アスリートの性的画像問題について共同通信運動部女性部員2人から始まった一連の調査報道。その舞台裏から、盗撮罪をめぐる法整備や加害者の実態解明まで、スポーツと盗撮の問題を考える一冊。



『僕に方程式を教えてください
~少年院の数学教室』
高橋一雄、村尾博司他【著】/集英社 (2022/3)

「先生、自分も大学行けますか?」「あ〜、もっと早く少年院に来てればよかった!」。可能性ある子どもたちで溢れる少年院の在り方、数学教育の重要性を描く一冊。

「危機管理・エネルギー」に関する書籍（既刊・新着から）



『そのとき、日本は何人養える？
～食料安全保障から考える社会のしくみ』
篠原信【著】/家の光協会 (2022/8)

なぜ先進国は食料を安く輸出するのか？なぜ命にかかわる食料が安値で低迷するのか？エネルギー・環境・食料・経済を軸に食料安全保障を考える。



『世界で最初に飢えるのは日本
～食の安全保障をどう守るか』
鈴木宣弘【著】/講談社 (2022/11)

ウクライナ戦争による穀物欠乏、異常気象、原油高騰…。深刻化した日本の食料安全保障危機を克明に分析し、日本国民が飢餓を回避するヒントを探る。



『自衛隊最高幹部が語る台湾有事』
岩田清文他【著】/新潮社 (2022/5)

自衛隊の元最高幹部たちが「台湾有事の形」をシミュレーション。実際に有事が発生したら政府・自衛隊・国民は、どのような決断を迫られるのか。リアルなストーリーを通じ、戦争に直面する日本の課題を炙り出す。



『成長戦略としての「新しい再エネ」
～地熱、洋上風力、ペロブスカイト太陽電池が日本を救う！』
山口豊【著】/山と溪谷社 (2022/10)

地熱開発に挑む業務スーパー創業者の挑戦等国内外の先進事例を紹介。日本の再エネ課題を整理し、気候危機とエネルギー危機を生き抜く実現可能なシナリオを提言。



『AI防災革命～災害列島・日本から生まれたAIベンチャーの軌跡』
村上建治郎【著】/幻冬舎メディアコンサルティング (2021/12)

「防災」の新たな局面を切り拓くベンチャー企業の軌跡・展望とは？災害状況を即時に可視化予測する「AIベンチャー」が描く、災害大国日本の「未来の防災」。



『私たちはいつまで危険な場所に住み続けるのか～自然災害が突き付けるニッポンの超難問』
木村駿他【著】/日経BP (2021/10)

被災地取材を担当した建築・住宅・土木分野の専門記者が、気候変動を生き抜くための「防災対策」「街づくり」を考察。



『災害女性学をつくる』
浅野富美枝他【編著】/生活思想社 (2021/3)

「女性と災害」に焦点を当て、次世代を担う若者・市民が共に防災・復興・地域社会のあり方を「女性学」「男女共同参画」の視点から検討する上で必要な知識と実践方法を提起する。



『地方自治体のリスク管理・危機管理～内部統制、コンプライアンスから防災・BCPまで』
森健【著】/商事法務 (2020/12)

「リスク管理・危機管理」の本質、「不祥事・自然災害リスク」への立ち向かい方、「リスク管理・危機管理」の実効性を高めるために何が必要か。その実践的解決方法を提示。



『災害ケースマネジメント ◎ガイドブック』
津久井進【著】/合同出版 (2020/2)

被災者と向き合った著者が、生活再建に向けた効果的な支援策や法制度、地方自治体・民間団体による支援の際に必要な情報を、90のポイントにわかりやすくまとめたガイド本。

📖 R3年度～R4年度に購入した書籍を中心にご紹介しています。